

Un petit café de Kobe 2003 その⑦

鯉川筋のチャーピーな三人

C^チH⁺I^ビR^ピP^リY^イ c^カa^フf^エe^ス

信時 哲郎

神戸市中央区下山手通三一六一五

Tel 078 (3332) 2229

営業時間 9:00 ~ 21:00

定休日 水曜

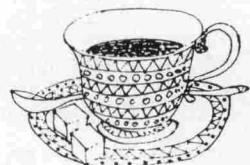


個

人で始めたカフェ、姉妹で始めたカフェというのは神戸にも数多くある。しかし夫妻と義弟（あるいは姉弟と義兄というべきか……）の三人で経営するカフェというのは、変り種に属するのではないだろうか。

街の中心からちょっとはずれた鯉川筋という立地は、ゆったりくつろぐには絶妙のポイントだと思うのだが、「開店してみると、予想外にお客さんが少なくて、失敗したかな、と思ったこともあります」と撫利奈子さん。しかし開店して二年半たった今になつてみると、この立地だったからこそ様々な人に出会えたのだと思うようになったという。若い女性はもちろん、地元の人たちの井戸端会議、デート中のカップル、観光客、商談をするビジネスマン。距離が近いためもあってか、神戸山手大学の在学生・卒業生たちの支持も厚い。「チャーピーな（陽気な、楽しそうな）店になつて欲しい」という開店当初の思いは、早くも実現しているようである。

夫は料理人、妻は元事務員という撫夫妻が、カフェ経営を始めたところに、大学の法学部を卒業し、洋菓子店に勤務しながら専門学校でお菓子作りを学んでいた大江さんが合流。これがチャーピー・カフェの出発点。かつて文房具店だった



たという細長い店舗は、三人でプランを出し合いながら改装したのだという。

レンガ色の戸を開けると、白い壁と木の床、一

番奥またたところにはガラス張りのケーキ工房。

キッチンはその脇。椅子と机はバラバラ……と

言うのも、三人がそれぞれ自分の好きなものを集

めてきたからなのだそうだ。しかし、バラバラで

ありながらも不思議とバランスが取れているのは、

そもそも三人の趣味が似ていたからなのだろう。

壁にかかる時計は、アメリカの小学校で使

われていたものらしい。

しかし、どう何から何まで三人でやっていたら、

時には意見が対立することもあるのではないだろ

うか。

「いえ、三人だからいいんです。誰かと誰かの意見が対立しても、必ず多数決で決めることができますから……。」

なるほど！「3」という数字にはなんとなく不安定なイメージがあるのだが、不安定な部分を残しているからこそうまくいくこともあるようだ。

思えばこのカフェも、鯉川筋という街中とも街外とも言えるような場所にあるからこそ、誰が入ってきても、すぐに店の雰囲気になじむことができるのであった……。

定休日を除いては、朝の九時から夜の九時まで休みなし。三人でローテーションが組めるとは言え、重労働であることには違いない。他のカフェはどんな感じなのか、街ではどんなものがはやつてているのか……。若い人たちを相手にすることが多いだけに情報収集は欠かせないが、それに割く時間もなかなか確保できない。しかし「三人寄れば文殊の知恵」という言葉もあるように、三人でアイディアを持ち寄って、また新しい展開を見せてくれるのだろう。



のぶとぎてつるう
1983年神奈川県横浜市生まれ。神戸山手大学人文学部環境
文化学科で宮沢賢治や都市と文学について教えていたる。



ダークブラウンの床の色が、おちついた雰囲気をかもし出している。



鯉川筋に、こんな看板が出ているはず。

コーヒー

ダージリン

ハイネケン

モーニングセット

デリス バイエクレール

ランチセット

シュークリーム

四〇〇円

四三〇円

四八〇円

五〇〇円

五八〇円

六〇〇円

六八〇円

七〇〇円

七八〇円

八〇〇円

八八〇円

九〇〇円

など



歌好き、気さくなスタッフのみなさん

神戸市須磨区寺田町3-1-29
☎ 078-732-8666
18:30~翌2:00無休

■ E L V I S

商店街にこんなお店が…
カフェ? ギャラリー?
「梵天」

板宿商店街を西へ入った

ところに、小さくカフェメニューの看板だけは出ている「梵天」。二階に上がる

と、木造りの広いカウンターがあり、上品な器が積まれている。喫茶メニューはあるけれどカフェではなく、

月に二回程度個展が開かれているギャラリーでもあるので絵だけ見て帰るお客様がいていい。ジャズ、

ロックなどのライブも行なわれている、一言で説明するには難しいお店だ。

板宿に30年近く住むオーナーの三坂孝子さんが、それまで地元になかったサロ

ン的な場所を創ろうと、6年前にオープンした。「ギャラリー・ライブハウスとして、プロ・素人関係なく特に地元の人に使ってほしい」と三坂さん。店内は和の

板宿で20年

パーティーならここで

ダンス&ライブ

「E L V I S」

地元の人なら一度くらい

は同級会や二次会で「E L

V I S」行ったことがある

かもしだい。若い頃よく

ここで踊ったよ、という人

もいるかも。山陽・地下鉄

「板宿」駅から3分、大田

町交差点の角の3階にある

「E L V I S」。今年で20周

年を迎える。オーナーの中

川シゲオさんはかつて東京

のナベプロにいたプロの歌

手。神戸に戻ってきてから

15年ほど三宮の店で歌つていたが、どうしても地元にライヴハウスをつくりたくてこの場所に。当時はまだカラオケボックスなどはなく、歌えて、飲める気軽なお店は人気を集めた。親子二代にわたっての常連客もいるそうで、客の年齢層も幅広い。

今ではパーティーや二次会などの利用が多い。店内はゆったりしたボックス席が置かれ、中央には広いダンススペース、そして充実した音響設備が整ったステージがある。オーナーをはじめスタッフの皆さんのが気さ

11月30日(日)にはハーバーランドの上屋劇場で、E L V I S 20周年記念パーティーが行なわれる。時間は19時から。会費5,000円(フリードリンク)で、予約制。

たまにブレスリーばかりの美声を披露してくれるオーナー



ブレスリーばかりの美声を披露してくれるオーナー

雰囲気だけれど、展示物に
よってがらりと様子が変わ
る。ライブも個展も、ジャ
ンルにはこだわっていない。

11月には、増田豊子さんの
「ちりめんと絹布の小物」

展

10月後半にイラストレー
ター・WAKKUNの個展
が予定されている。月に一
回、朗読会も企画している。

お昼には、三坂さん手作

りの日替わり定食（100
0円）が大人気。三坂さん

のご主人のお家が魚屋さん
のため、新鮮な魚介が手に
入り、魚や野菜を中心とし
た和食。毎日食べに来るお
客さんもいるので、三坂さ
んは日々の献立に頭を悩ま
せているとか…。喫茶は、



1階入り口にはのれんが。このときは陶芸展が開かれていた

■梵天
神戸市須磨区飛松町2-1-4-9
☎ 078-1735-1053
11:00~17:00 日曜休
(500円)。夜は午後5時
までだが、予約をすれば以
降の時間もOK。

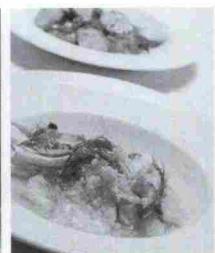
秋、おしゃれに
「igrek VEGA」
装つて出かけたい
元町商店街の玄関口にあ
るファッショニビル・VE
GAビルの6階に、ダイニ
ングレストラン「イグレック
・ベガ」がオープン。北
野、三宮にあるカフェ、大
丸神戸店にあるベーカリー
「イグレック・ブリュス+」
とともに、神戸北野ホテル
の総支配人・総料理長であ
る山口浩さんが手掛けてい
る。山口さんの料理は、生
クリームやバターを抑え、
素材の味を生かした新しい
タイプのフランス料理。北
野ホテルで定評のある山口
流新フレンチを、ホテルと
同等の味、サービスとともに
リーズナブルに味わえるの
が「イグレック・ベガ」だ。

ランチは2500円(、
ディナーは2800円(、
ともに前菜約8品、メイン
約8品からチョイスするブ
リ・フィックス・スタイル。
ランチには、ステーキ料理か
パーム料理十本日の料理十
ドリンクのお得なスピーデ
ンサービスで欧州産直輸入
チーズがワンカット（30
0円）から。ブルゴーニュ
のアッショニビル・VE
GAビルの6階に、ダイニ
ングレストラン「イグレック
・ベガ」がオープン。北
野、三宮にあるカフェ、大
丸神戸店にあるベーカリー
「イグレック・ブリュス+」
とともに、神戸北野ホテル
の総支配人・総料理長であ
る山口浩さんが手掛けてい
る。山口さんの料理は、生
クリームやバターを抑え、
素材の味を生かした新しい
タイプのフランス料理。北
野ホテルで定評のある山口
流新フレンチを、ホテルと
同等の味、サービスとともに
リーズナブルに味わえるの
が「イグレック・ベガ」だ。

野ホテルで定評のある山口
流新フレンチを、ホテルと
同等の味、サービスとともに
リーズナブルに味わえるの
が「イグレック・ベガ」だ。
ランチは2500円(、
ディナーは2800円(、
ともに前菜約8品、メイン
約8品からチョイスするブ
リ・フィックス・スタイル。
ランチには、ステーキ料理か
パーム料理十本日の料理十
ドリンクのお得なスピーデ
ンサービスで欧州産直輸入
チーズがワンカット（30
0円）から。ブルゴーニュ
のアッショニビル・VE
GAビルの6階に、ダイニ
ングレストラン「イグレック
・ベガ」がオープン。北
野、三宮にあるカフェ、大
丸神戸店にあるベーカリー
「イグレック・ブリュス+」
とともに、神戸北野ホテル
の総支配人・総料理長であ
る山口浩さんが手掛けてい
る。山口さんの料理は、生
クリームやバターを抑え、
素材の味を生かした新しい
タイプのフランス料理。北
野ホテルで定評のある山口
流新フレンチを、ホテルと
同等の味、サービスとともに
リーズナブルに味わえるの
が「イグレック・ベガ」だ。

ルコント氏セレクトによる
フレンスワイン、シャンパン
も充実している。赤を基
調としたスタイリッシュな
店内で、少しおめかしして
優雅な時間を過ごしたい。

■igrek VEGA
神戸市中央区元町通1-1-7-1
VEGAビル6F
☎ 078-1334-1909
11:30~21:30 (ラストオーダー)
不定休



オープン当日、かけつけた作家・玉岡かおるさんは
神戸北野ホテルのファン。山口総料理長とともに。

イベント スケジュール

2003.10-11

PLAY



藤田佳代 舞踊研究所
モダンダンス公演
「踊れオレンジを」
11/29(土) 18:30開演
神戸文化ホール
当日一般4000円
一般7000円(前売りのみ)
●問合せ/藤田佳代 舞踊研究所
☎ 078-1822-12066
<http://www2.s.biglobe.ne.jp/~fk/mids>

MUSIC



田淵幸三
ピアノリサイタル
11/29(土) 18:30開演
イシハラホール
(大阪市営地下鉄四ツ橋線「肥後
橋」駅)
一般5000円
●問合せ/ボコアボコ
☎ 075-1467-11551

のダンサーとともに、フラン
メンコダンサー・東伸一矩
狂言師・岡村和彦、演劇作
家・山本貴士を迎える。パロッ
クヴァイオリン、チエンバ
ロの生演奏で踊られる。舞
台には現代美術作家・南和
好の幻想的な絵が映し出さ
れる。極度に動きを抑えた
思いの深い作品展。

第6回「カトリーヌ劇場」
山本公成ソロライブ
10/19(日) 15:00開演
キタノサーカス(北野・異人館通)
当日一般4000円(1ドリンク
付)
●問合せ/キタノサーカス
☎ 078-221-9294



神戸朝日ホール(大丸から東へ50
m)
前売一般1300円
0円
当日一般1500円 中高生13
00円
●問合せ/映画サークル協議会
☎ 078-331-8538
<http://www.bekkoanene.net/~lkcc/>

CINEMA

市民映画劇場 11月例会
11/14(金) 15(土)
11:00/13:30/16:00/19:00



ベテラン・田淵幸三が贈
る秋の名曲演奏会「モーツア
ルト、ベートーベン、ショ
パン、リストなどのクラシッ
クの名曲の数々を演奏。
「選曲の内容がたいへん重
厚なものになりましたが、
未来に向けてなにかを提言
できるような演奏会になれ
ば」と演奏者本人も意欲的
なりサイタルだ。琥珀色の
晩秋にふさわしいクラシカ
ルなひとときを。

異人館通にあるキタノサ
カスが主催する小さな「世
界劇場」。珠玉のライヴ・パ
フォーマンスを、小さな会
場ならではの近さで目にす
ることができる、ぜいたく
な劇場だ。 今回ソロライブを行なう
山本公成は、ソプラノサック
スを中心に戦各地の笛
を自在に吹き「風の楽団」
をはじめ多くの活動を主宰。
演奏活動の多くは自然をテ
マにしたものの、実際に自然
の中に行なわれ、自然と音
楽によるリラクゼーション
を感じる。ソプラノサック
スをはじめ、ネイティブア
メリカンフルート、自身の
オリジナル竹笛「竹子」
などさまざまな楽器によるラ
イブが予定されている。

山本公成は、ソプラノサック
スを中心に戦各地の笛
を自在に吹き「風の楽団」
をはじめ多くの活動を主宰。
演奏活動の多くは自然をテ
マにしたものの、実際に自然
の中に行なわれ、自然と音
楽によるリラクゼーション
を感じる。ソプラノサック
スをはじめ、ネイティブア
メリカンフルート、自身の
オリジナル竹笛「竹子」
などさまざまな楽器によるラ
イブが予定されている。

奔放で傷つきやすく、無
垢だからこそ切ない、決し
て甘い思い出ばかりではな
かった高校時代の景色:過
去のあなた自身に重なる人
がきっと見つかるはず。
※チケットプレゼントあり



チャンス。日替りの超超目玉商品もたくさんあるのでぜひお見逃しなく。

■問合せ／TEL 06・6445・2191



お気に入りのブランドがいっぱい



「誕生日フェスタ」へどうぞ

十一月二一日(日)に第四回誕生日フェスタを開きます。

「障がい者」の心からの求めを拒む壁は、人の心の荒れや世の仕組みの荒さです。

突き崩す勇氣と協力を、この機会に培いましょう。

障がい者が先生となつて得意の技を教える「本人講師」や車いすダンスを楽しめます。オリックスブルーウェーブのネットワークも応援してくれます。

地域で懸命に生きる障がい者の笑顔や熱気を身に浴びて、神戸復興のまちづくりの視野を拓けていただきたいものです。

★芸術の秋♪ジョイント・コンサート
10月10日(金)19時よりイシクラホールにおいて、ソブランノ坂本環、河野克典のジョイントコンサートが催される。歌姫の声輝く今、ドイツ・リートの俊英を迎えて、シユーベルトの『魔王』、中田喜直・寺山修司の『木の匙』など芸術の秋に贈る美しい歌の夕

★神戸初!めちゃ得!ブランド&リサイクル市 in 神戸ハーバーサーカス
10月10日(金)~12日(日)の3日間、神戸ハーバーランド

ハーバーサーカス4Fに、スーパー・ブランドのリサイクル品を扱うリサイクルブティック・質屋・インボーテーションが集結。ヴィトンにシャネルにエルメスと人気のバック、時計、ジュエリーなどが通常価格よりさらに激安で買える絶好の

べ。ピアノ伴奏は多田秀子、お話は中田幸子。入場料￥5000(自由席)
■イシクラホール(地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅下車5~B出口上がる)
■問合せ／大阪アーティスト協会TEL 06・6135・0503

★Let's Try!!サバイバルゲーム

最近ブームとなりつつあるサバイバルゲーム。グッズを取り扱うお店も全国で約1250店舗、ゲーム専用のフィールドも各地に数多くある。そこで「サバイバルゲーム」ではサバイバルゲームのルール案内・安全性をより多くの方に知つてもらうため、ハウトイービデオ

「フルメタルエンジェルズ」を11月5日(水)にリリースす

多めのフィールドも各地に数多くある。そこで「サバイバルゲーム」ではサバイバルゲームのルール案内・安全性をより多くの方に知つてもらうため、ハウトイービデオ



ソブランノ
坂本 環



パリトン
河野 克典

ト協会TEL 06・6135・0503



フルメタルエンジェル達と
サバイバルゲームの世界を楽しもう

誕生日ありがとう運動本部
〒650-8790神戸市
中央区中町通4・2・11
上ビルB1
TEL&FAX 078-601257

日時 11月2日(日)
場所 (中央区吾妻通4)
午前10時~午後5時
コミスターこうべ

IM

る予定(¥3000)。安

のスポーツに、貴方も挑戦してみてはいかが。

★秋空の下 第十六回『全
国陶器市』開催

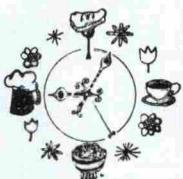
姫路の秋の一 全国陶器市

世界文化遺産姫路城を仰ぐ

姫路の陶器市は、北は新潟

産地（有田焼、萩焼、美濃焼、備前焼、丹波立杭焼、信楽焼、瀬戸焼、常滑焼など）

花時計



★路地と車道と

今、我が家は神戸山本通2丁目の近教寺の見えるマント文化センターの見えるマントショーン住まい。そして編集部は、トアロードと生田新道が交差する山口銀行山側のロードにある。ソノの4Fにある。

歩いて復興祈願。もう8年9ヶ月が過ぎた。六甲のみどりと、北陸限の住民の方々の花づくりのパワーを毎朝いたで、そして一宮のイッちゃん、とお不動さんの花ちゃん、奥田さんちのアンリ君たち、奥田さん、界隈の皆さんと仲良く体操をしたり、お祭りをしたり忙しい。

そのおかげで、息も絶え絶えに創り続ける月刊神戸っ子のパワーを保てるから不思議兄が亡くなる前に心事4丁目への、家を売ろうという話が出たとき、坂道の路地にあつての電柱を動かせば車道になつて高く売れるといわれた。お隣りの華僑のおじさんが、「ここは車が入らないからいいのよ。危なくないし、子育てに一番よ」

そういうえば、家でも、前に歩いている人の長男にいわゆるアロード下り線の車道を行くまでの路地があり、ストの繁盛で人にやさしいのと、日本人は、21世紀は、ら、人にやさしい地の楽しさの時だと思ふ。軒面隣りともも路面電車も、実際に見ていく

ど）から20万点以上の焼物が一堂に集まり、1日で全国の焼物产地巡りをした気分が味わえるのが魅力。価格も市価の2～3割安とあって、例年西日本一円から15万人を超える人出で賑わう。ご家族一緒に出掛けを。

★神戸レクリエムPART V 開催
神戸レクリエムも5回目
を迎える。今回はチャペルコンサートとディナーが蘇州園にて催される。出演は『神戸レクリエム』作曲の久保比呂誌、詩の岡本真穂、スペシャルゲストにウイーン・ザイフェルト弦楽四重奏団を招く。午後7時より開演のコンサート終了後、8時45分よりディナータイムとなる。蘇州園の美しいお庭で心癒されるひとときをどうぞ。11月22日(土)チケットは￥15,000。

★KOBE POST
★奥田貿易真珠の奥田一弥社長
が、私領ボリネシア、政府より、タヒチ、黒蝶、真珠産業
の育成と発展に多大な功績を残
されたことに対して、シ・ユ・パリ
エ章を受章。9月25日(木)の午
後6時よりボート・ア・ホーテルの午
館地下1階で受章パーティが開
催されました。
★11月1日(日)午後1時30分より、
ボート・ア・ホーテル南館の大輪田の
間で、吉谷俊雄氏の長男、
春人さんと齋藤俊一氏の長女、
麻悠子さんと結婚式を挙げられ
ます。おめでとうございます。
お幸せに!

★神戸レクリエムPART
V開催

KOB E POST

★神戸女声合唱団(代表) 谷岡朋子(10月25日(土)午後2時開演)を迎え文化中ホールで開かれます。昨年は「全国シルバー合唱コンクール」で「金賞」を。今年は小橋謙三(93才)指揮者と山本収指揮者(07)の指導で。EL&FAX 0785-519010-0558-01902

第一回六甲山トレッキング開催

六甲山の歴史街道を歩く 油ヶ淵からアイスロード



ダイヤモンドポイントで記念撮影。前列左が重廣恒夫さん

月刊神戸「子主催による「六甲山トレッキング」企画がいよいよスタート!!

9月24日(水)、第一回六甲山トレッキングを開催しました。当日は激しい雨、風に恵まれ最高の天気で、コーディネーター、参加者皆さん大変喜んでおられました。なにより、六甲山で他の登山者の方を一人も見ることなく、我々だけの貸切になっているのではという満足感を得ることができました。

神戸にある六甲山という恵まれた環境を使って、山登りに関する知識、経験、技術を学び、1年間を通してステップアップしていくこうというコンセプトでこの企画は始まりました。

コーディネーターに著名な登山家、重廣恒夫さん(アシックス・アウトドアマイスター)、井川勲さん(イカワスボーツ店主)になつていただき一年間進めていくことになつています。

山に入ればコーディネーターの重廣さんの下、地図の見方、雨風への対応の仕方などを教えていただきながら楽しいトレッキングになりました。

回数を重ね、少しずつ勉強しながらステップアップして山を楽しんでいきましょう。

皆さんどうもお疲れ様でした。

六甲山トレッキングツアー 第3回トレッキングツアーワーク

日 時: 11月26日(水)
コ ー ス: 魚屋道から六甲最高峰
お問い合わせ: 月刊神戸「子主催
協 力:(株)アシックス
イカワスボーツ
☎ 078-331-2246

海からのエナジー

FU-3000

フコイダン+3菌糸体

オキナワモズク由来 フコイダンに、
3種の菌糸体 (スエヒロタケ、アガリ
クス、メシマコブ) を高濃度に配合
した代替医療食品

●召し上がり方：
健康保持のため、1日1
～2パックを目安にコップ
などに注いでお召し上
がり下さい。水やジュー
スなどを混ぜて飲んで頂
いて結構です。



褐藻類の成分「フコイダン」が癌細胞を自滅させる。
フコイダンが癌細胞をアボトーシス（細胞の自殺作用）する
ことが第55回日本癌学会で発表されました。以後臨床研究が
盛んに実施され、代替医療食品として今、注目されています。

フコイダンとは

海藻類に含まれる多糖類成分の総称で部分的に硫酸化されたフコースを主構成成分としています。褐藻類より抽出された「フコイダン」は、近年、数多くの生理活性作用が見いただされています。

アガリクス菌糸体とは

学名を「アガリクスフラゼイ」といい、原産地はブラジルです。
1980年の日本薬理学会、日本癌学会総会等で制ガン効果が発表されました。多糖体のβ-D-グルカンを含んでいます。

メシマコブ菌糸体エキスとは

長崎県男女群島の女島（メシマ）に
野生する桑の幹に寄生することからこの名がついたといわれています。
メシマコブ菌糸体を熱水抽出したエキスは免疫力を活発にする働きがあるといわれています。

スエヒロタケ菌糸体とは

水溶性のβ-1-3-グルカンを豊富に含んでいます。
β-1-3-グルカンは免疫賦活作用がありますが、水溶性になると消化管免疫組織の機能を高めやすいといわれています。
加齢により免疫力が低下した高齢者の方に適しています。



森下仁丹(株)100%子会社 (株)仁丹ファインケミカル

●ご用命／
カタログ、資料請求は エルムサポートクラブ
フコイダンココヨ
TEL 0120-251-994 担当 **土井**
FAX 0120-251-992

仁丹のフコイダン

えと月占い 《十月の運気》

ねずみ月(12/8～1/5)生まれ

運気は徐々に挽回し万事が回転を始めて
いる気配。計画中の新規のことも時期を
見て取り掛かってもよい。相当な成果も見
込まれる。変化・変動もあり。

子

うし月(1/6～2/3)生まれ

運気は俄然好転し物事の万事解決を夢で
はしない。積極的に努力し計画中のことは
進めてよい。取引中のものも相応の利
潤は見込まれる。開業は吉。

丑

とら月(2/4～3/5)生まれ

思わぬ障害があり前途がやや見にくくなっ
てきた。しかし運気は順調や運機を見て
行動を起こすこと。現状の拡張には絶好
の好機ともなる。

寅

うさぎ月(3/6～4/4)生まれ

運気は上昇し好機となっている。継続中
のことは思い切って拡張に踏み切るのもよ
い。しかし調子に乗り過ぎると思わぬ反発
が起きるので要注意。

卯

たつ月(4/5～5/5)生まれ

運気は波乱を帯びた表運の月となった。
変化・変動も多々起り易い感覚に惑わさ
れる。表運とともに冷静に行動し吉凶処理
などは早急に処理すること。

辰

へび月(5/6～6/5)生まれ

運気は場々として前途も明るい1月なれど
も身体面での疲労が気掛かる。無理の
ない計画を立て行動すればねはらぬ。移転・
婚姻・開業は大いに吉。

巳

うま月(6/6～7/7)生まれ

好機は到来している。懸案中のことは実
行にうつむくもよい。出来得れば共同で
の仕事が成果はある。異性間のトラブル
に注意が必要。誠実で対応せよ。

午

ひつじ月(7/8～8/7)生まれ

運気は平常に戻りつつある。焦らず徐々
に取り組むことが大切。先走りは後悔を
生む。星運な計画の上にこそ成績があが
まる。新規の計画もよ。

未

さる月(8/8～9/7)生まれ

運気はいたって強いかつて行動の制
限を受けることになり思うように成果が上
がらぬ。変化・変動も多く不安な日々とも
なる。周囲との和を第一に。

酉

とり月(9/8～10/8)生まれ

運気はやや流れ悪く、變化・変動もある。
物事にはあまり深入りせしめほがよか
ねない。冷静な判断を。

戌

いぬ月(10/9～11/7)生まれ

運気は急転し前途が曇雲に覆われて物事
が停滞状態になってしま。諸事一時待
機の態勢で望むのが一番貴重な策。離合
集散の時期でもある。

亥

いのしし月(11/8～12/7)生まれ

運気はやや待ち直し進み始めている。
この機会を逃さず現状の拡張を図るのも一
策。意外な助力も現れる。暴走は幸運
を逃がしてしまう。

子

人間関係・心の問題・家族・職場・恋愛など
占師 わらおう 予約 078-321-6865

各駅の神戸歴史ウォーク(8)



甲南山手駅 森の稻荷神社と 魚屋道

田辺眞人

甲南という言葉は六甲の南という意味で、六甲南麓・東神戸を舞台にする学校や企業や団体名にしばしば見受けられる。一方、山陽・山陰というふうに南と北を陰陽で表わす方法によると、六甲の南は甲陽となるから、甲陽と甲南はもともと同じ意味なのである。古代に浪速の津(大阪)あたりから見て、海の彼方にあつた西宮・東神戸方面を海の「むこ(向)う」と呼び、地名は漢字二字で表わす習わしから「武庫(むこう)」の字が使われ、武庫川・武庫郡・武庫山などの地名がつき、やがて務古・六児さらに山については「六(む)甲(こう)山」の字でも表されるようになり、それが「ろっここうさん」と読まれるようになり今に至ったようだと、すでに六甲道駅の時に書いた。六甲山が武庫山だと解ると、武庫(六甲)山の南(陽)つまり武陽という言葉も甲南・甲陽と同義語だと理解されよう。

私の母校である兵庫高校などは旧制の神戸二中の時代から同窓会を武陽会と称してきた。

八世紀に完成した律令による地方制度では、全国は

国・郡・里(郷)に分けられた。今日の夙川から生田川に至る六甲南麓の地方が摂津国菟原郡で、平安前期の記録によると、東灘の地域には葦屋郷(本庄や本山の東部と芦屋市の一部)・佐才郷(魚崎一帯)・住吉郷(本山の西部と住吉)・覚美郷(御影地方)などの郷があった。このときの菟原郡の郡役所は地名によると、御影の郡家から住吉の室之内あたりに設けられた。政府は国土を均等に国民に支給し、人が死ぬと土地を返させた。この班田收授のために戸籍を造り、農地を基盤目状に区画整理した。この地割が条里制で、摂津本山駅から甲南山手駅の周辺にあつた一ノ坪(小路)・二ノ坪(小路)・三ノ坪(北畑)・三王坪(深江)・泉ヶ坪(同)・八条垣(岡本)・十ヶ坪(御影)などという字名は、条里制の地番表示の名残だった。

さて、甲南山手駅一帯の森南町と森北町は、江戸時代に摂津国菟原郡にあつた森村の地域で、駅から北西に五百メートルたらずで古社・森の稻荷神社があつて、興味深い伝説が伝わっている。奈良時代初めの靈龜元年(715)卯月卯月の夜、深江の漁師が暗い海辺を歩いていると、沖に不思議な光が現われた。それを知らされた村人が海岸に集まつてみると、その光は波にゆられながら岸に近づき、浜辺にあつた大きな松の木の根かたに打ち上げられた。そして光の中から「われは稻荷の神靈、この山手の森かけに鎮座したい」という声が聞こえた。人々はよろこんで松の周りを躍り回つた浜辺の松は踊り松と呼ばれるようになつた。土地では、神さまの漂着を祝つて毎年卯月卯月の日に祭りを行ない、卯の葉祭りと称してきた。江戸時代には、保久良神社とともに近郊の本庄九か村(森・深江・青木・中野・小路・北畑・田辺・津知・三条)の総氏神としてあつく信仰されたが、明治5年以降は県の命令

兵庫津の道 秋季祭 “平家懐古祭”

歴史講演会 「平清盛と兵庫」

清盛公とその一門の盛衰についての講演です。

とき 11月16日(日) 15:00～30

会場 法蓮寺本堂 (神明町)

お問い合わせ 兵庫津の文化を育てる会(㈱ペイエリニア内)

℡ 078-1261-2327



① 森の稻荷神社
② 魚屋道の道標
③ 蛍岩

で総鎮守を保久良神社と分け、明治22年に町村制が施行されて以後、森・深江・青木の旧三か村の地域だけが氏子地として残った。

（深江本町4丁目2）のあたりで、今では踊り松の碑が建っている。

踊り松があったのは、現在の神戸商船大学養正館（深江本町4丁目2）のあたりで、今では踊り松の碑が建っている。

稻荷神社の参道東側にある古い手洗石に刻まれた奉納者名を見ると、深江や青木には「魚屋」という屋号が目につく。豊かな漁村だった青木や深江の水産物を六甲山を越えて有馬に運ぶための道が魚屋道であった。深江から森に入り稻荷神社の北の谷をさかのぼると、尾根の上に「蛭岩」という巨岩がある。ここで、東の芦屋方面からの道と合流して尾根筋を西北に登り、岡本方面からの道とも合流して北上、風吹き岩に至る。そこから現在の芦屋ゴルフ場を縦断して東お多福山の西の肩・雨が峰を越え、北側の住吉川の谷に下り本庄橋を渡って一気に六甲山最高峰の東肩の一軒茶屋まで登る。ここからは湯の町有馬までなだらかな山道を下っていくのである。江戸時代、灘から有馬への公認の交通路は今の西宮・宝塚・生瀬・船坂ルートだった。灘と有馬の住民がこの遠回りの道を嫌って、山越えの直行コースを整備した。この山越え道を西宮や小浜、伊丹など宿場の商人たちは抜け荷の通路だと幕府に訴え出、江戸時代を通じて大阪の奉行所で裁判が繰り返された。森の稻荷神社はそんな山道の登り口でもあった。かつての魚屋道のルートの大半は今、東六甲を南北に横断するハイキングコースとして利用されている。



たなべ
1947年、兵庫津生まれ。兵庫高校・関西学院大学文学部卒業。現在、国田学園女子大学国際文化学部教員。地域史研究で神戸市文化奨励賞・神戸市文化活動労賞を受賞。また、「ユーリ・ジーランド学会副会長」や宝塚市教育委員をもつとめる。「神戸の伝説」・「神戸の100年」・「ユーリ・ジーランドの風土と生活」など著書。監修多数。

中右瑛 盟友・柳亭種彦ナゾの獄死

北斎センセイには、絵師だけではなく作家など多くの友人がいた。その交友録も実にドラマチックだ。

駆け出し時代からのライバルだった無二の親友とまでいわれた曲亭馬琴とはケンカ別れしたが、もう一人の親友、ときの流行作家・柳亭種彦（一七八三—一八四二）とは特に相性がよかつた。二人はたびたび作家とさし絵師としてのコンビを組んだ。気性の激しい北斎に比べ、種彦は武士出身であつたが、高慢さはなく気性はやさしく、女性のようなタイプであつたようだ。江戸戯作者・見立六歌仙では、種彦は「小野小町」にたとえられている。

種彦は北斎の精力的な行動をいつも驚嘆し敬服していたのである。種彦は北斎より二十三歳も若かつたが、正反対の二人の性格がよく噛み合い、生涯の友となつた。

種彦はたびたび北斎宅に遊びに来て「おらんだそろばん」の手ほどきを受けたという。種彦の日記にも北斎のことが記されていた。また種彦の戯作本『近世怪談・霜夜星』、『阿波之鳴門』、『三七全伝南柯夢』（いづれも文化五年刊）に北斎はさし絵を担当した。

『北斎漫画』（十一編）の種彦の推薦文には北斎のことを次のように評している。

「画論は立派でも、実践が伴わない人もいる。古い画法を抜け出て、物を生き生きと描ける人、ただ一人、北斎翁のみである」

種彦は天明三年（一七八三）、江戸・本所吉田町生まれた生粋の江戸っ子。通称・高屋彦四郎。足薪翁とも修紫樓とも号す。小普請組所属の食禄三百俵の幕臣である。通人として、狂歌、俳諧、川柳、絵画にも通じ、芝居通でもあり、特に役者の声色は天下一品であった。二代目坂東三津五郎に似た美男子だったという。二十五歳のときから作家生活に入った。

種彦の読本は変化に富み、義理人情に厚く、勸善懲惡思想を盛り、広く大衆に支持された。

戯作者・柳亭種彦の肖像



種彦の代表作『修紫田舎源氏』は文政十二年（一八二九）からはじまり、以後、天保十三年（一八四二）までの十三年間、三十八編もつづいた合巻長編小説で、原点は不朽の名作・紫式部『源氏物語』の翻案パロディである。満都の人気をさらった小説『修紫田舎源氏』。『修紫』とは「紫式部のニセ者」という意味がある。平安のドンファン・光源氏を室町時代にタイム・スリップさせ、お家騒動を軸に、将軍・足利光氏の女性遍歴、大奥における享楽生活を書いたものである。

これが江戸庶民に深い共感をおぼえさせ、強い関心を抱かせたのは、意味があった。当時の将軍・徳川家斉の豪奢、乱脈ぶりの大奥での淫乱享楽生活の一端を、この小説が髣髴とさせたからである。

なんせ！時の将軍の大奥における享楽生活を、古典

『源氏物語』に擬して、時代を風刺したパロディ小説で、歌川国貞のさし絵と相まって、ベスト・セラーとなり、江戸庶民の大喝采を浴びたのだった。種彦の一世一代の代表作である。

しかし、この小説が彼の命取りとなつた。

『修紫田舎源氏』が大ブームを引き起こしているさ中、天保十二年（一八四一）、家斉はみまかたのだ。多くの大奥女性、五十数人とまでいわれる家斉の子。家斉の淫乱生活、乱脈政策によつて財政は破綻。老中・水野忠邦が幕政改革に乗り出す。財政の建直し、政治の刷新が図られ、奢侈禁止のもとに出版界・演劇界の弾圧を強め、この小説がやり玉にあがつたのである。

天保十三年（一八四二）、絶版、発禁。三十八編が出版されたのだが、『天保改革』の名のもとに大奥を比喩したということで、出版禁止令が発せられたのだった。

三十九編、四十編まで原稿は完成していたが未出版となる。江戸文学屈指の名作は未完で終つた。

種彦は投獄され、その後、七月十八日、牢獄で急死したのだった。六十歳だった。

幕府は種彦の死を一切秘密にし、親友・北斎もこのことを後で知つた。

死の原因は何だったのか？ 豊岡のあまり発狂したか、病死だったのか、それとも自殺だったのか。一切、謎に包まれている。

その直後、北斎センセイは無気味な残酷表現の図を描いた。ショッキングな「拷問図」である。

（つづく）



『修紫田舎源氏』

■中右 基（なかう・えい）
抽象画家。浮世絵・夢ニエッセイスト。一九三四年生まれ、神戸市在住。行動美術展において奨励賞、新人賞、会友賞、行動美術賞受賞。浮世絵内山賞受賞。半どん現代美術賞、兵庫県文化賞、神戸市文化賞など受賞。現在、行動美術協会会員、国際浮世絵学会常任理事。著書多数。

語呂合わせ

浅黄 あさぎ

斑 まだら

／作家 とおる

絵・犬童 いんどう

徹 とおる

やっとタイガース優勝が決まりました。これで、少しは関西が元気になってくれることを祈っています。でも元気が妙な方向にそれた結果、道頓堀への飛び込みが五千人以上、さらには、とうとう死者まで出てしまったと聞くと、暗澹たる気分にもなってしまいます。あの常軌を逸した馬鹿騒ぎの裏側に、長引く不況や閉塞感からの自己防衛、ガス抜き、といった見方をしてしまうのは、うがち過ぎた考え方でしちゃうか。

さてタイガースが絶好調で、これで十八年ぶりの優勝も確実と思われた頃、伊丹市の昆虫館で、なんの変哲もない、小さな一匹のテントウムシが、タイガースファンたちに囲まれて大人気になつていました。それは、このテントウムシの名前のおかげです。テントウムシが、なぜテントウムシというのかというと、それはこの虫が、葉や枝の先から「お天道さま」つまり太陽に向かって飛び立つように見える姿からきております。いや、そんなことじゃなくって、話は、阪神ファンに人気の

テントウムシの名前のことでしたね。その名は「ムーアシロボシテントウ」といいます。「ムーア (が) シロボシ (白星をあげてマジックが) テントウ (点灯)」といった語呂合わせになります。ちなみにプロ野球に興味のない読者のために書き添えますと、ムーアというのは阪神タイガースの投手の名前です。

話は例によつて飛びますが、まさかタイガースが優勝して、関西に思わず熱気をもたらしてくれるとは夢にも思わなかつた一昨年、小生は関西の仲間たちと、「もう、ほんまに関西はどん底やで。文化も経済も地盤沈下で、とことん元気がないで」などと、酒かくらしながらヒフンコーライしておつたのです。今や何もかもが東京一極集中で、上方文化は絶滅寸前、せめて最後の悪あがきでもいいから、「なんぞ、やろう」ということになり（あまりに無謀でしたが）、関西発信の文学賞を作ることになつてしましました。それに「三都文学賞」とネーミングしたのは小生ですが、もちろん、



これは神戸・大阪・京都をシンボライズしたものです。

関西に文学賞はいくつもありますが、応募はブロアマ問わずの全国区、純文学のみならず推理や

時代やSF、なんでもOKというのが大きな特長といいましょうか。そして、もう一つの大きな特長が、企業や行政などの後援や協賛がないことです。有り体に言えば、手弁当手作り持ち出しのチヨー

貧乏文学賞がこうして誕生し（無謀とはこのあたりをさします）、それでも百六十編を超える応募がありました。で、ようやくこの十月、第一回の

授賞パーティを開くところまで、こぎ着けました。チヨー貧乏の口実に、選考委員長を押しつけ

た志茂田景樹氏には無報酬どころか、往復の新幹線代や宿泊費も自腹を切つてもらうことになりましたし、当日司会のタージン氏やアトラクション

の嘲笑や音楽関係者も全員がボランティア、おまけに学生時代を思い出し、パー券を知人に押し売りしたりと、このところ極悪非道の道を突き進んでまいりました。皆様、どうかお許しくださるとともに、来年はスポンサーにもなってくださいとお願いいたします。

ところで、ここに至るまでいろんなことがありました。が、とりわけ腹立たしかったのは、このよう

うに苦労を重ねた「三都文学賞」に非常に似通った名の文学賞を、さる出版社が創ったことでした。

すでに小生たちが作品の募集を始めたのちのこと

で、偶然ではありません。その出版社から、一緒にやらないかという話が持ち込まれ、文学賞創設の趣旨があまりにも違いますからお断りし

た経緯があります（自費出版専門の会社でした）。もつとも「三都」は商標登録ではありませんが、似通った名の文学賞ができたことで、かなりの迷惑を受けたことは事実です。

あ、いかん。横道にそれた話が長引いて、もうあまり紙数がありません。「三都」といえばサッカーのサンタスが「三都主」という語呂合わせの名前ですというのも強引すぎるし、よし、こうなれば、とておきの語呂合わせをご紹介しましょう。次の数字を、さて、どう読みますか。

「三十九 三千百三三四八 一八二 四五〇 二四六 四百八三千七六」

この解答。

「里遠く 道も淋しや ひとつ家に 夜ごとに
白く 霜や満ちなむ」

いかかでしようか。

語呂合わせじゃありませんが、ちょっとみだらな、お坊さんの隠語も、おまけにつけときますね。「大悦」と「天悦」。わかるかな。大の字を分解すると「一人」、天を分解すると「二人」、すなわち「一人で悦ぶ」と「一人で悦ぶ」。前者が自慰だと分かれば、あとのほうも分かりますよね。



■浅黄斑（あさぎまだら）推理作家。市生まれ。西神ニュータウンに在住。一九四二年小説推理新人賞、一九五五年日本文芸家クラブ大賞を受賞。日本文芸家協会、日本推理作家協会などに所属するとともに、日本文芸家クラブ関西支部長、「さきよも風さえ吹きすぎる」「ちゃんとがれ西鶴」「走る死体」「神戸・真夏の雪祭り殺人事件」など著書多数。